

Curves[®]

The power to amaze yourself.[®]

**食品を必要な方にお届けする
カーブス フードドライブ**

～令和7年度 食品ロス削減推進表彰 環境大臣賞 受賞～

株式会社カーブスジャパン



健康づくりの事業を通じて、地域社会へ貢献する

女性だけの30分健康フィットネス カーブスは、事業目的である

「病気と介護の不安と孤独のない 生きるエネルギーがあふれる社会をつくる」

の実現に向け、全国約2,000店舗を「地域密着の健康インフラ」として展開しています。

各店舗が地域の健康拠点として、ビジネスを通じた地域社会への貢献にとどまらず行政・医療機関等と連携しながら地域の健康課題解決の支援、女性コミュニティの力を活かし社会資本（ソーシャルキャピタル）の充実に取り組んでいます。

- **行政連携：** 地方行政の健康づくり政策の支援
これまでに全国50以上の自治体と連携し、市民の健康意識向上をサポート
- **医療連携：** 地域医療機関との連携を通じた医療課題解決への支援
心臓リハビリテーション、整形外科など80以上の医療機関と連携し、運動を必要とされている患者さまに、安全に運動いただく機会を提供
- **社会資本の充実：** 女性コミュニティの力を活かし、地域の人と人とのつながりや支えあいなどの社会資本（ソーシャルキャピタル）充実への取り組み





2007年、47都道府県への出店を機に、
「**地域密着の健康インフラ**」としての役割をさらに広げるために、
私たちにできることはないかを模索し始めました。

その中で、「**食に困る人がすぐ身近にいる**」という切実な現実がある
ことを知りました。一方で、本来食べられるのに廃棄されてしまう
「**食品ロス**」の問題もありました。

この二つの課題に対して、
私たちの**店舗網**と**コミュニティの力**を活かせるのではないかと——
そう考えたのが、この活動の始まりです。

当時、**アメリカ**では「**フードドライブ**」が広く行われており、現地の
カーブスでも**地域貢献活動**のひとつとして取り組まれていました。

その考えに共感し、日本でも全国の店舗ネットワークを活かして活動
を開始。**全国規模で実施したのは、カーブスが初めて***です。

* カーブスジャパン調べ

カーブス フードドライブは、**カーブス店舗**を拠点に、**会員さまと地域の皆さま**から家庭にある**未利用食品**をお預かりし、**カーブスコーチ**が**地域の福祉施設**などへお届けする活動です。

- **実施期間** 毎年1月15日～2月15日
- **お届け先** 児童養護施設、母子生活支援施設、障がい者支援施設、子ども食堂 など
- **活動の流れ**

1. 会員さま・地域の皆さまから食品をお預かりします



2. コーチが食品を仕分け・梱包し、施設へ運びます



3. 児童養護施設や母子生活支援施設などに寄贈します





全国の皆さまのご協力で、活動がここまで広がりました

2007年の開始から**18年間**、

現在では全国約**2,000**店舗で実施しています。

延べ**221万人**の会員さま、地域の皆さまから

これまでに累計**3,051トン**の食品をお寄せいただき、

延べ**11,000**施設・団体へお届けしてきました。

**全国の会員さま、地域の皆さま、そしてカーブスコーチの
温かい行動が、この活動を支えています。**



食品をお届けする中で、

「**地域のあたたかさを感じた**」「**励まされた**」といったお声を多くいただいています。

地域のつながりを実感し、「今度は自分たちも地域の役に立ちたい」と感じてくださる方もいらっしゃいます。

また、**施設の子どもがカーブスコーチに憧れ、実際にコーチになった例**もあります。

▼感謝のお声の一例（児童養護施設さまより）

会員の皆様、いつも福祉施設等に対するご支援をいただいております。感謝申し上げます。国内カーブス様の**地域貢献、社会貢献**という目的に、会員皆さまが心を寄せてくださっているそのものが、とても嬉しく、そして大切なつながりとなっていることに、改めて**幸せを感じております**。

今回は、合計6店舗の会員の方からのお気持ちを素敵な女性スタッフの皆様が届けてくださいました。**心と体が健康であること**——このことは日頃、子ども達の支援をしていて、とても大切なことだと実感しています。皆様が届けてくださったお志を、子ども達に理解できるように伝え、いただけることが、当たり前にならず、感謝の心に繋げ、いつしか今度は、その子ども達が**社会に貢献できる人**になってくれるようお願いしながら日々の生活を応援していこうと思っています。





The power to amaze yourself.*

会員さま

会員さまの想いを形にする環境

年齢や立場にかかわらず、ご自身の時間を見つめ直す中で、「**社会とのつながり**」を大切にしたいと感じている方が多くいらっしゃいます。

とはいえ、そうした想いを実際の行動に移すきっかけを見つけるのは意外と難しいもの。「**ボランティアは参加のハードルが高い**」と感じる方も少なくありません。

カーブスでは日々の健康づくりの場を活かし、会員さまが潜在的に求めている「**社会とのつながり**」を、**無理なく行動に移せる環境**があります。

気軽さ

週2~3回通う
「いつもの店舗」で
自宅にある缶詰ひとつから
気軽に参加できます。

共感

40~70代を中心とした
会員さまは、家庭の台所事情
にも詳しく、「食」支援へ
の共感が自然に生まれます。

支えあい

会員さま同士が
励まし合う、前向きで
温かいコミュニティが
根付いています。

Curves

The power to amaze yourself.*

会員さま

温かい想いがつなぐ18年の輪

この活動は、**全国の会員さま・地域の皆さま**の温かい想いに支えられ、**18年間**、途切れることなく続いてきました。

店舗では、食品が少しずつ集まる様子を見ながら、
「乾麺があるからパスタソースを持ってこようかしら」
「お餅があるから、あずき缶を持ってきたらおしるこにできるね」
そんな会話が自然と生まれます。

一人ひとりの想いが集まり、いまでは**地域に温かい支えあいの輪**が広がっています。



いただきものが多いのですが、子どもが巣立ち、夫婦ではなかなか使いきれない食品がたくさんありました。しょうゆやみりんなどの調味料、のりやコーヒーなど、使ってもらえたらありがたいです。
施設のことを知るいいきっかけにもなりました。

カーブスのお店でフードドライブのポスターを見て活動に共感しました。自分ひとりで出来ることは限られてはいますが、みんなでやれば大きな輪になる。
なにより施設側が喜んでくれているのを知り本当に嬉しいです。



フードドライブへの参加をきっかけに、**家庭での食品管理を見直す**方も増えています。

「食材を無駄にしない」「必要な分だけ買う」など、日々の暮らしの中で「**食品を大切に使う意識**」が広がっています。こうした小さな行動の積み重ねが、**食品ロス削減**の実践につながっています。

さらに活動を通じて、

「**地域や社会とつながっていることが嬉しい**」
「施設でのボランティアに参加するようになった」など、社会との関わりを実感する方も増えています。

社会とのつながりを感じる喜びが、次の行動につながっています。





カーブスコーチは、日々の健康づくり支援を通じて、
「体力がついて、毎日が前向きになった」
「できなかったことにもう一度挑戦できるようになった」
など、会員さま一人ひとりの**「豊かな人生の実現」**に寄り添っています。

フードドライブでは、そうした会員さまの**「温かい想いを受け取り、一緒に地域へ届ける喜び」**を感じています。



年に一度、施設へ食品をお渡しする際には、
子どもたちの成長する姿に触れ、
「地域とともに歩んでいる」ことを改めて実感します。

健康づくりと地域貢献——

その両方を担うことが、カーブスコーチとしての**「誇りと使命感」**を深めています。

Curves

The power to amaze yourself.*

三者がつくる「支えあいの輪」

この活動は、**食品を届けることを超え**、
会員さま・カーブスコーチ・施設さま、**三者それぞれに良い変化**をもたらしています。

会員さま

行動のきっかけを得て
社会とのつながりを実感

カーブスコーチ

会員さまの想いを
地域に届ける中で
誇りと使命感を深める

施設さま

地域とのつながりが生まれ
温かい交流が広がる

三者それぞれの「想いの循環」が、
地域の中にやさしい支えあいの輪を広げています。

カーブスの活動は、会員さま・地域の皆さま・
カーブスコーチが、それぞれの想いをもって支えています。



Curves

The power to amaze yourself.™

社会的意義と今後



カーブス フードドライブは、
人と人との信頼関係を育み、
「ソーシャルキャピタル」の強化に
つながっています。

地域の想いをつなぎ、支えあうことが
持続可能な地域社会
の実現には大切だと考えています。

地域密着の健康インフラとして、
今後も健康づくりと支えあいの輪を
広げてまいります。